

セメントを基材とし、間伐材等の木チップを独自に配合設計した木質系舗装です。従来の木質系舗装に見られる結合材の劣化による早期の腐朽、微生物による腐朽等を改善しました。木チップの風合いをそのまま活かした洗い出しタイプ、より耐久性、経済性を優先して洗い出さない打ち放しタイプ、景観性、経済性のバランスを取った着色タイプがあります。また、現場発生木を破碎、チップ化して使用することも可能です。

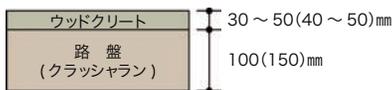
● 特長

- ・木の自然な風合い
主材に木チップ(間伐材・建築廃材)を使用しており、木の色合いを活かした自然に合った舗装となります。
- ・摩擦抵抗性
摩擦抵抗性に優れているため、車椅子や歩行者に安心感を与えます。
- ・経済性
直接路盤上に施工できるため、他の木質系舗装に比べ、安価に仕上がります。
- ・耐久性
セメント系木質舗装のため、微生物による腐朽劣化が起こりにくい。
- ・舗装温度
木チップとセメントの組合せにより浸透性があり、樹脂系やアスファルト系の木質舗装に比べ、表面温度が最大10℃程度も低くなります。

● 用途

- ・歩行者系道路の舗装区分Ⅰ、園路、広場

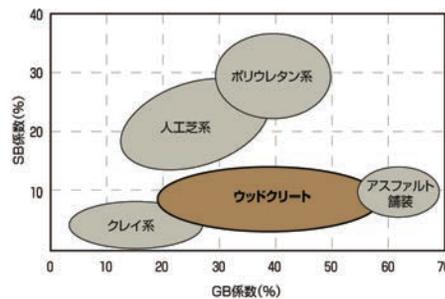
● 舗装断面



注：()内は歩行者系道路の舗装区分：区分Ⅱの場合を示す



● 施工フローチャート



GB係数は衝撃吸収性を、SB係数は反発弾性を表わします。GB係数、SB係数ともに小さい値を示すほど歩行者への負担が小さくなります。

⚠ 注意

- ・木チップの形状は樹種、保存状態、破碎機によって異なります。
- ・木チップの形状、配合により透水、不透水の機能が異なります。
- ・木チップのサイズにより舗装厚さが異なります。
- ・寒冷地域においては、透水機能を抑制させる場合があります。
- ・舗装内に長期間滞水すると、エフロ(白華)現象が発生する場合があります。
- ・経年により、退色していきます。
- ・施工時、材料の混合スペースが必要です。



▲洗い出しタイプ



▲打ち放しタイプ



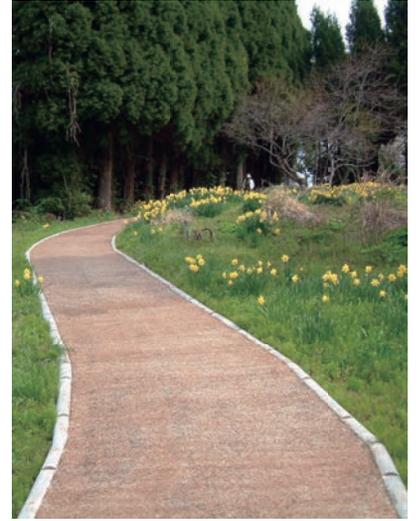
▲着色タイプ



春日PA (宮城) 洗い出しタイプ



青葉山公園追廻地区（宮城）洗い出しタイプ



九殿浜園地（富山）洗い出しタイプ

コンクリート舗装

樹脂系舗装

木質舗装

アスファルト舗装

緑化

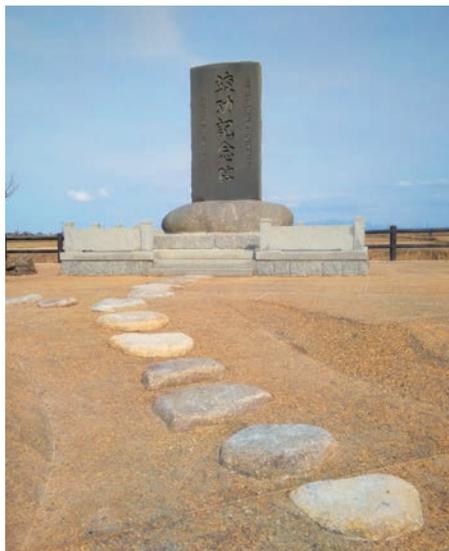
雨水流出抑制・雨水利用



坂田地区公共施設等整備事業（埼玉）着色タイプ



東洋大学赤羽台キャンパス（東京）洗い出しタイプ



鎧漕排水機場（新潟）洗い出しタイプ



果樹園（長野）洗い出しタイプ



城ヶ崎海岸遊歩道（静岡）着色タイプ